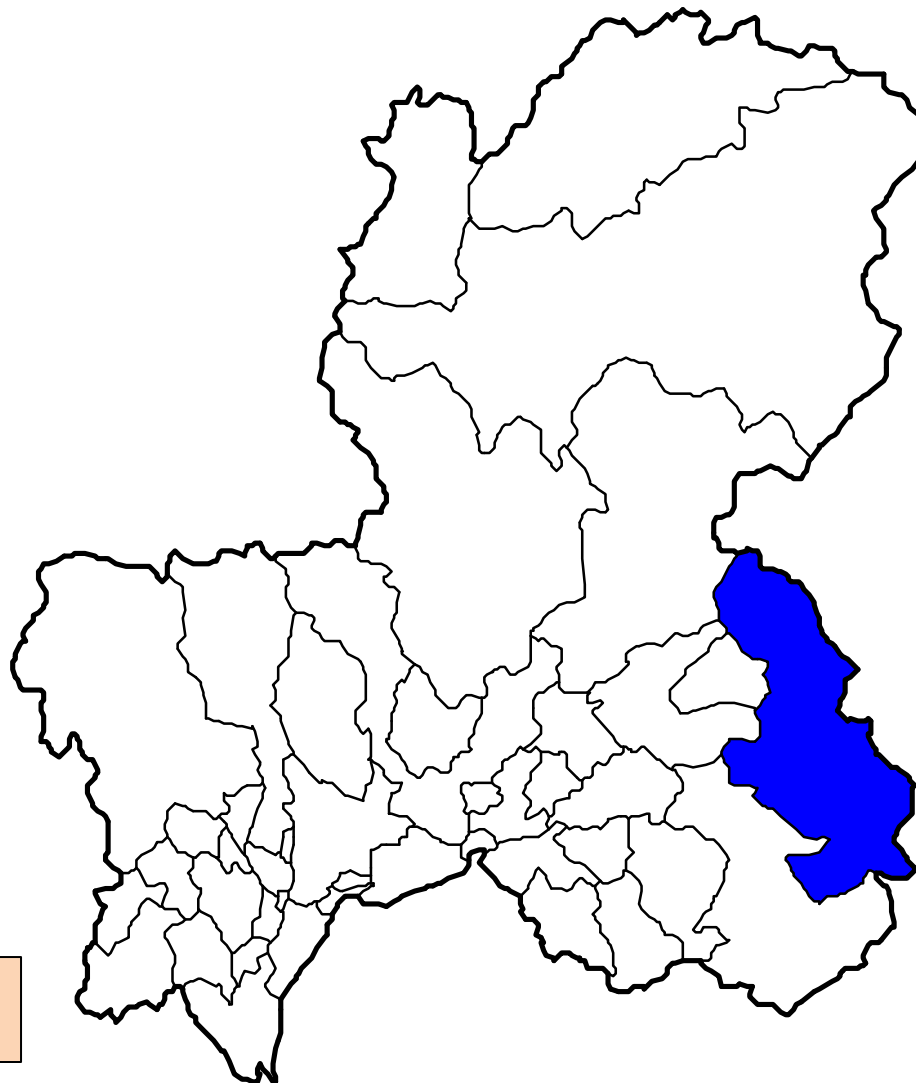


統計からみた 中津川市 の現状



| 総面積km ² | 割合% | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 676.45 | 6.37 | 6 |

※割合＝県全体に占める割合

＜平成以降の合併＞ 2005.2.13
中津川市、坂下町、川上村、加子
母村、付知町、福岡町、蛭川村、
長野県山口村

(注) 合併前の長野県山口村の数値は、
注記がある場合を除き合算していない。

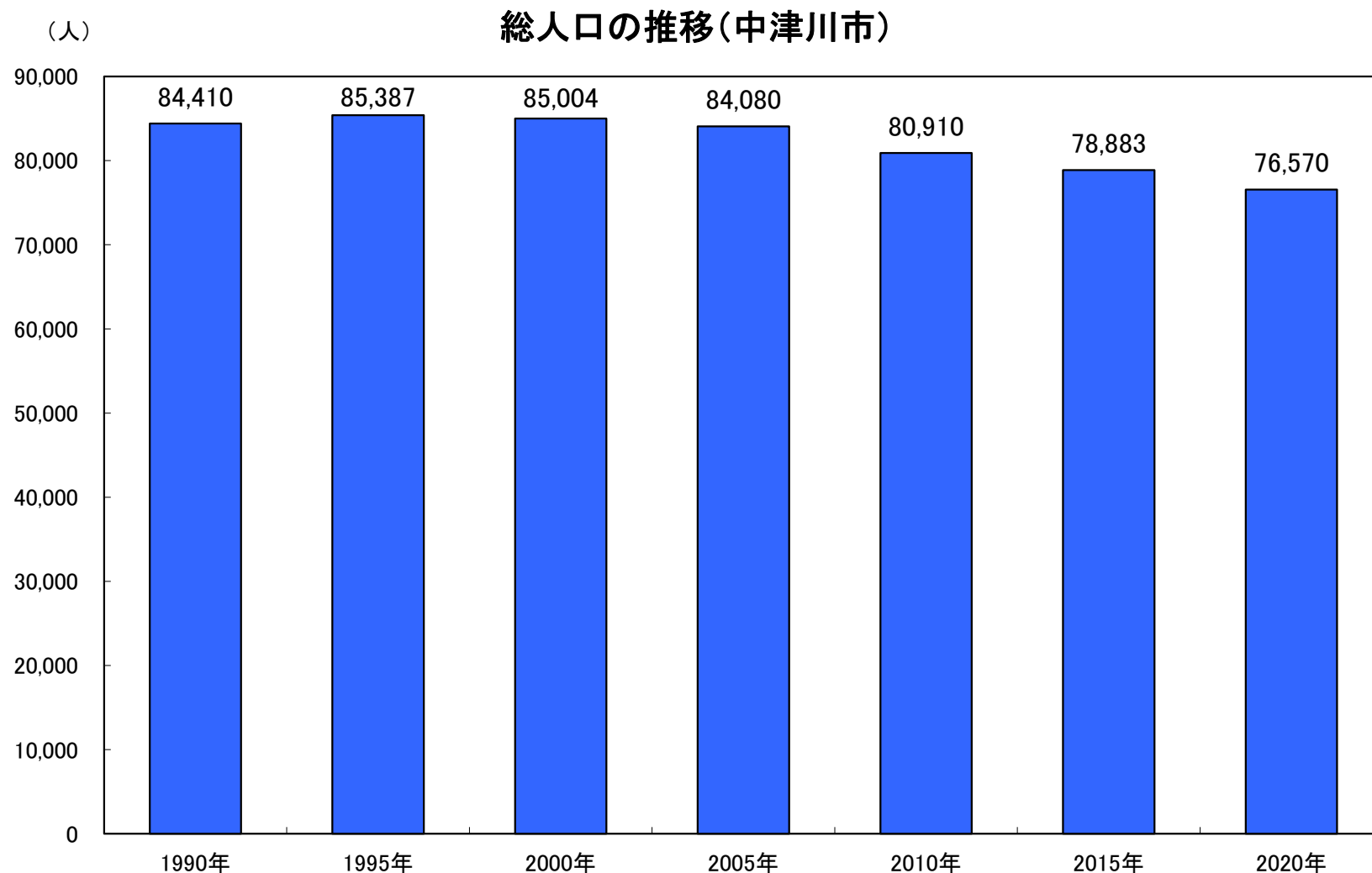
岐阜県環境生活部統計課
2024年3月更新

中津川市の人口は2000年頃から減少している

2010年：80,910人 → 2015年：78,883人 (△2,027人)

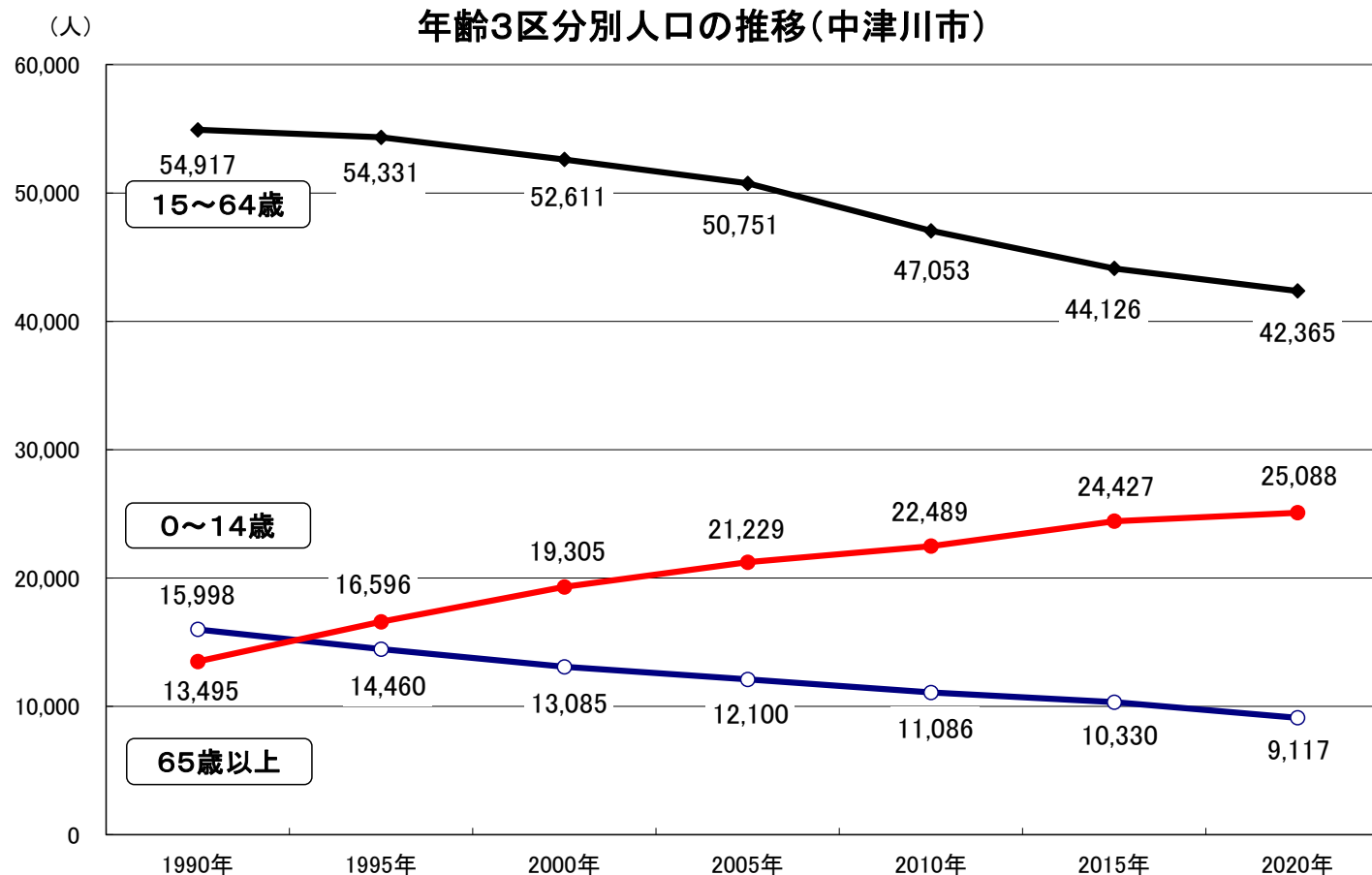
2015年：78,883人 → 2020年：76,570人 (△2,313人)

人口順位：県内8位 県人口に占める割合：4.1% (1990年) → 3.9% (2020年)



0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は1995年頃から減少が続く

| 人口の増減数 | 2010→ | 2015→ | 年齢3区分別人口の割合 (2020年) | | |
|--------|---------|---------|---------------------|-------|------|
| | 2015年 | 2020年 | 中津川市 | 岐阜県 | 県内順位 |
| 0～14歳 | △ 756 | △ 1,213 | 11.9% | 12.3% | 23位 |
| 15～64歳 | △ 2,927 | △ 1,761 | 55.3% | 57.3% | 26位 |
| 65歳以上 | 1,938 | 661 | 32.8% | 30.4% | 17位 |



出典:総務省「国勢調査」

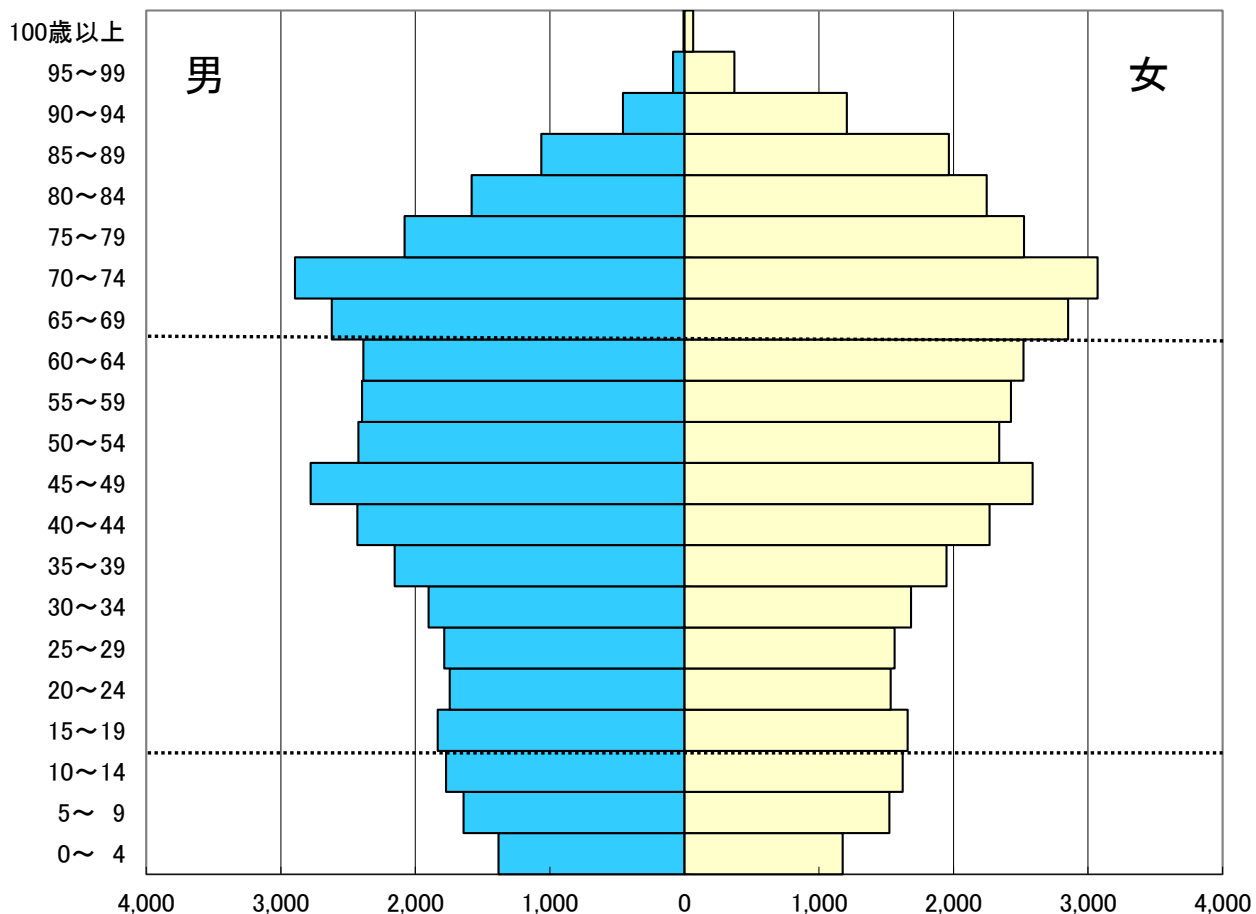
※各年10月1日現在、2000年以前は長野県山口村を含む数値。2010年(平成22年)までは年齢不詳を含まない。2015年(平成27年)以降は年齢不詳補完値。

若い世代が少なく、中高年層に厚みのある年齢構造に変化 団塊世代と団塊ジュニア世代が多い人口構造

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：16.0%（12位） → 2020年：32.8%（17位）

2020年人口ピラミッド（中津川市）



| | 人口(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 総人口 | 76,570 | 100.0 |
| 0~14歳 | 9,117 | 11.9 |
| 15~64歳 | 42,365 | 55.3 |
| 65歳以上 | 25,088 | 32.8 |

＜岐阜県全体の人口構成＞

- ・0~14歳 : 12.3%
- ・15~64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

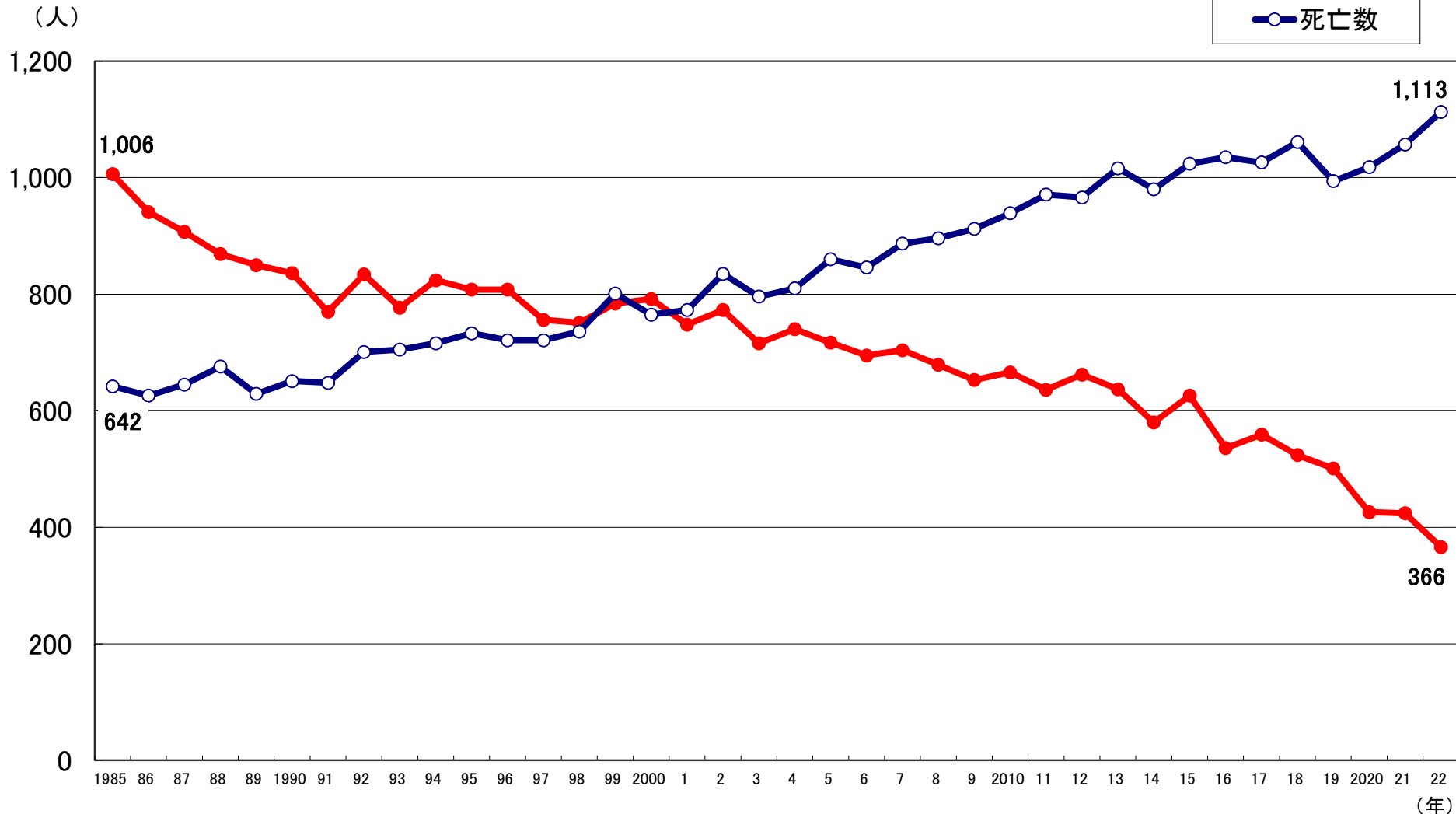
＜構成比の県内順位＞

- ・0~14歳人口 : 23位
 - ・15~64歳人口 : 26位
 - ・65歳以上人口 : 17位
- ※数値の大きい順

出生数が減少する一方、死亡数が増加 2001年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2022年の自然動態：出生数366人 死亡数1,113人 747人の自然減少

出生数・死亡数の推移(中津川市)



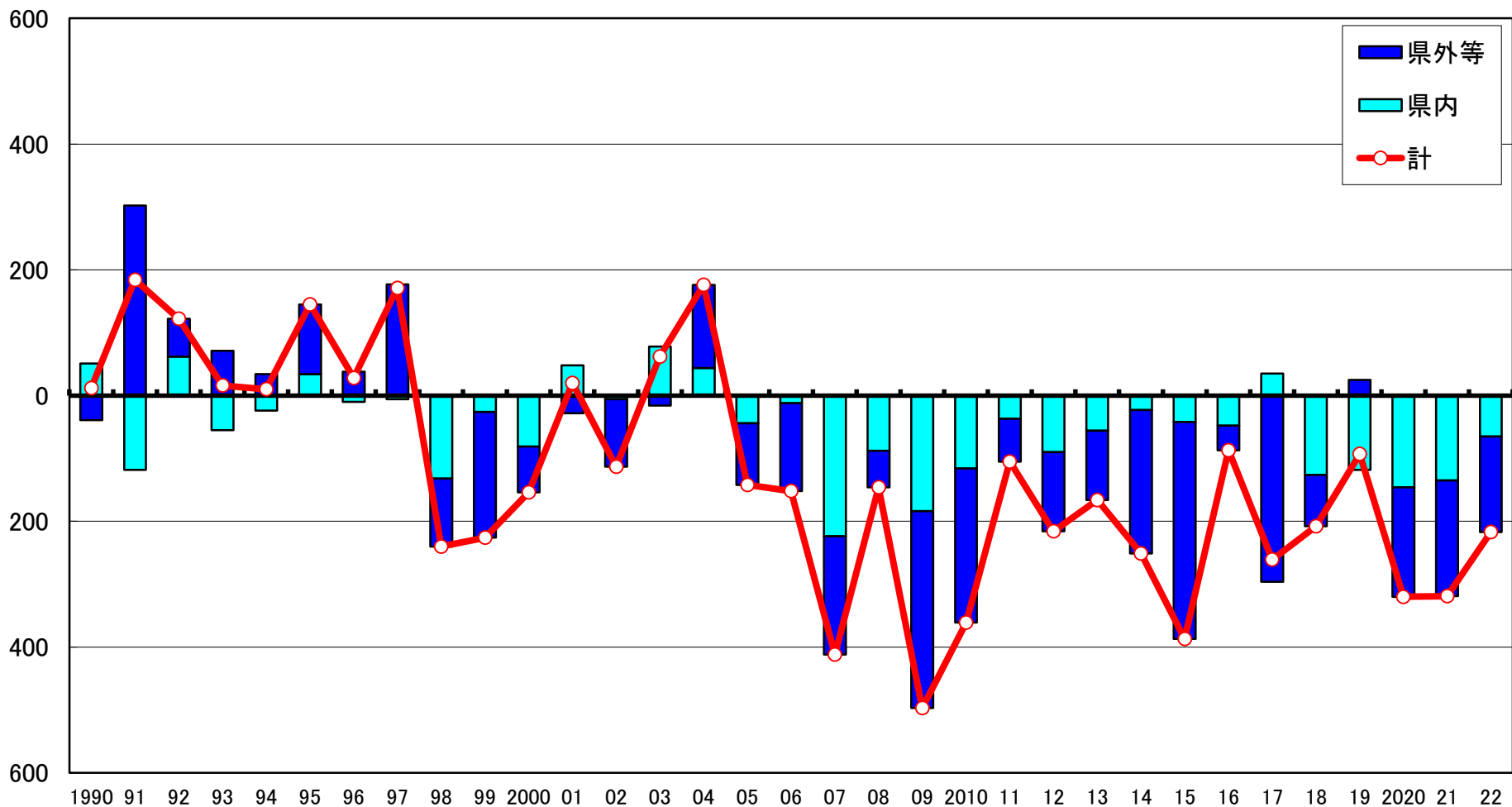
出典：厚生労働省「人口動態統計」(日本人 1～12月の年計)

2005年以降、転出超過が続く

2022年の社会動態：転入2,360人 転出2,577人 217人の転出超過

県内・県外等別転入転出差の推移(中津川市)

(人)



出典：岐阜県人口動態統計調査

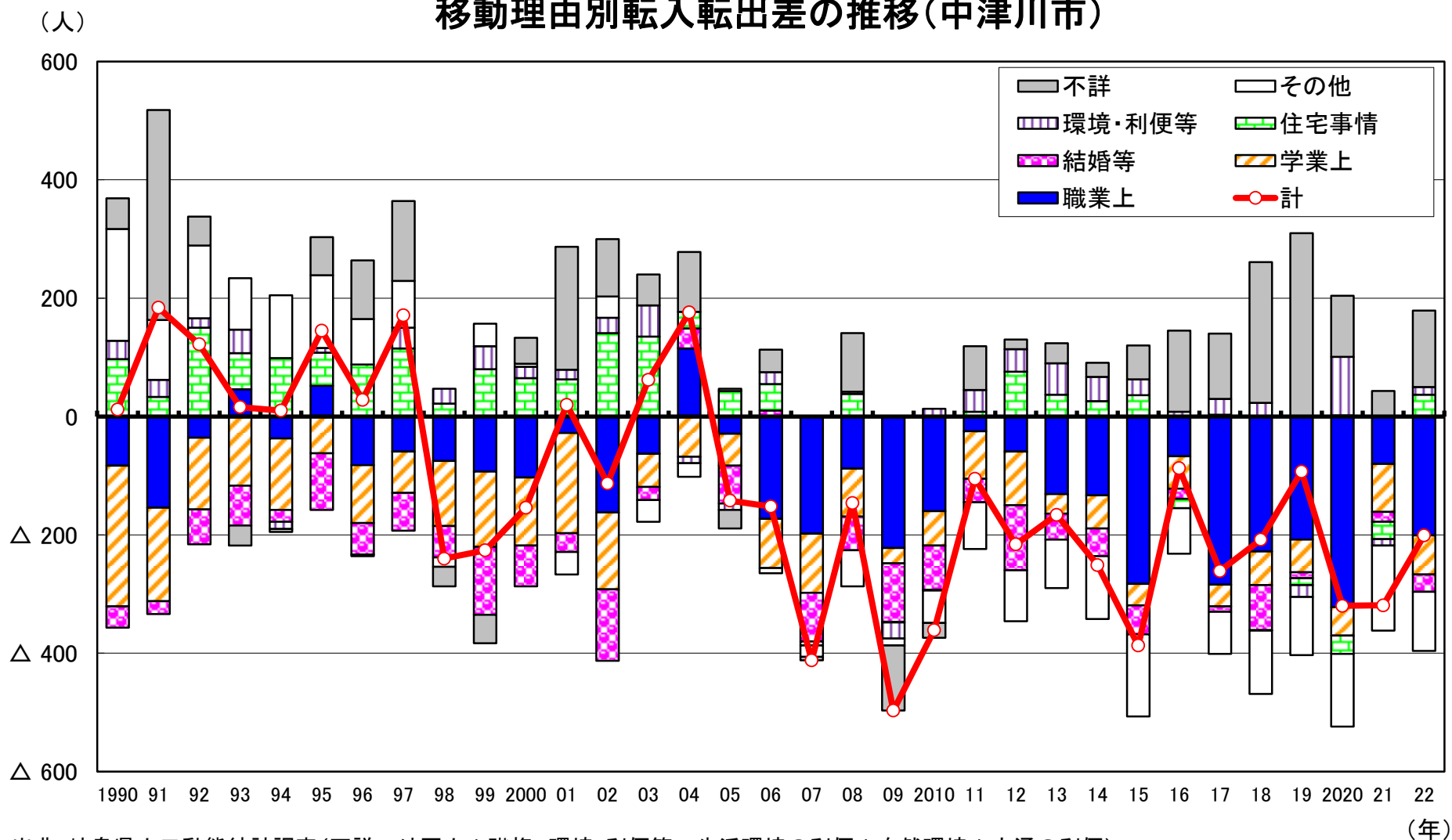
※計、県外等には職権記載等を含む。

※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

(年)

職業上、学業上を主な理由とした転出超過が続く

移動理由別転入転出差の推移(中津川市)

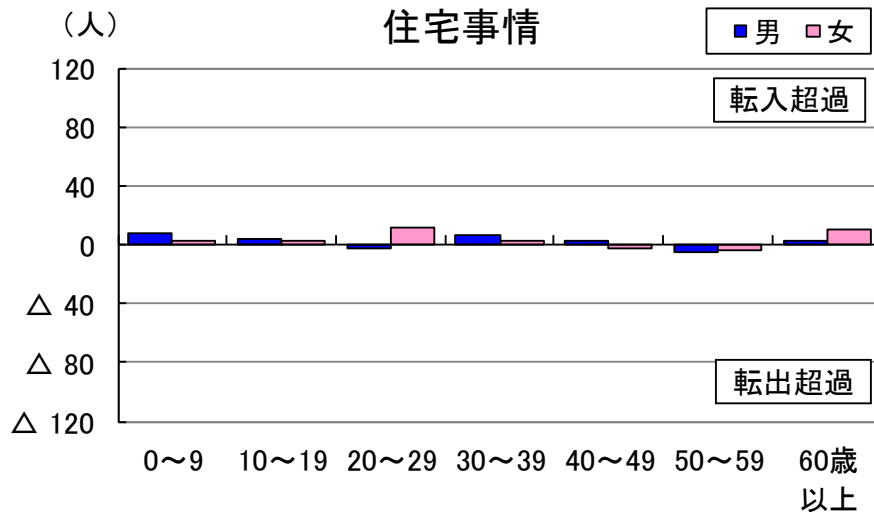
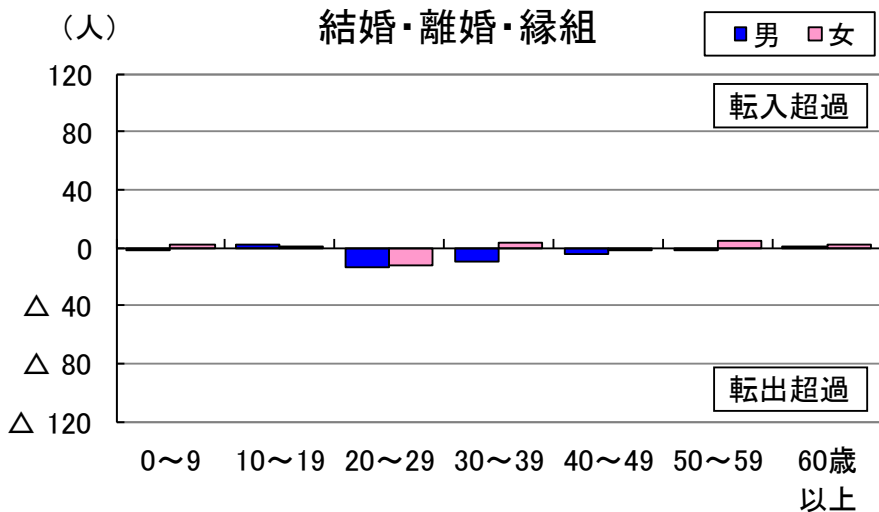
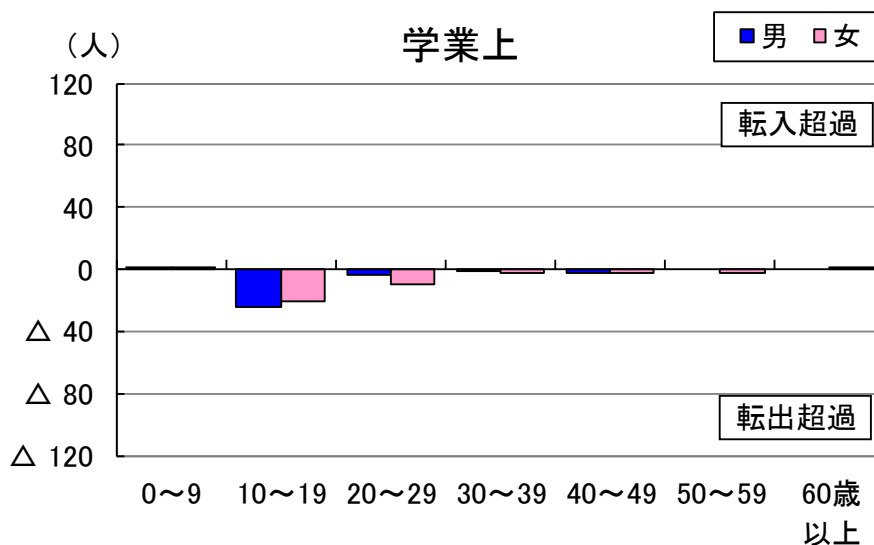
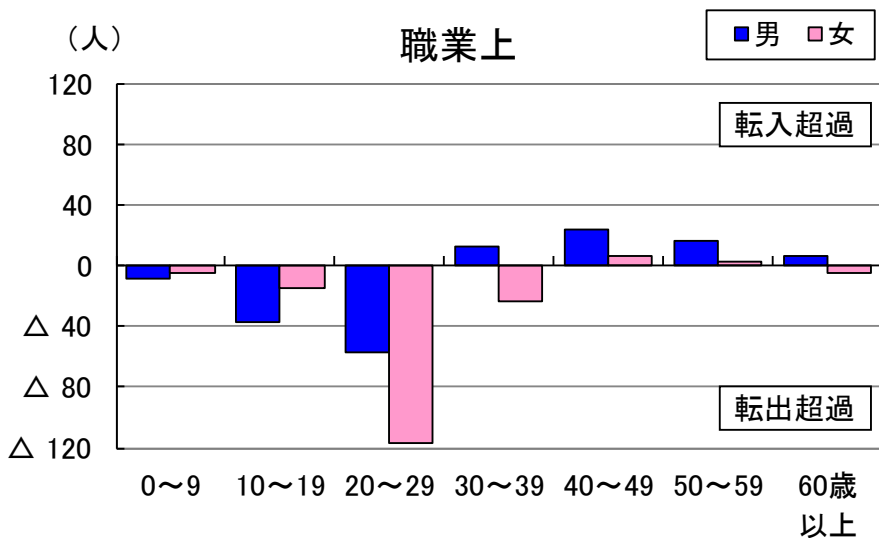


出典: 岐阜県人口動態統計調査(不詳=外国人+職権、環境・利便等=生活環境の利便+自然環境+交通の利便)

(年)

職業上、学業上を理由とした10～20代の転出超過が多い

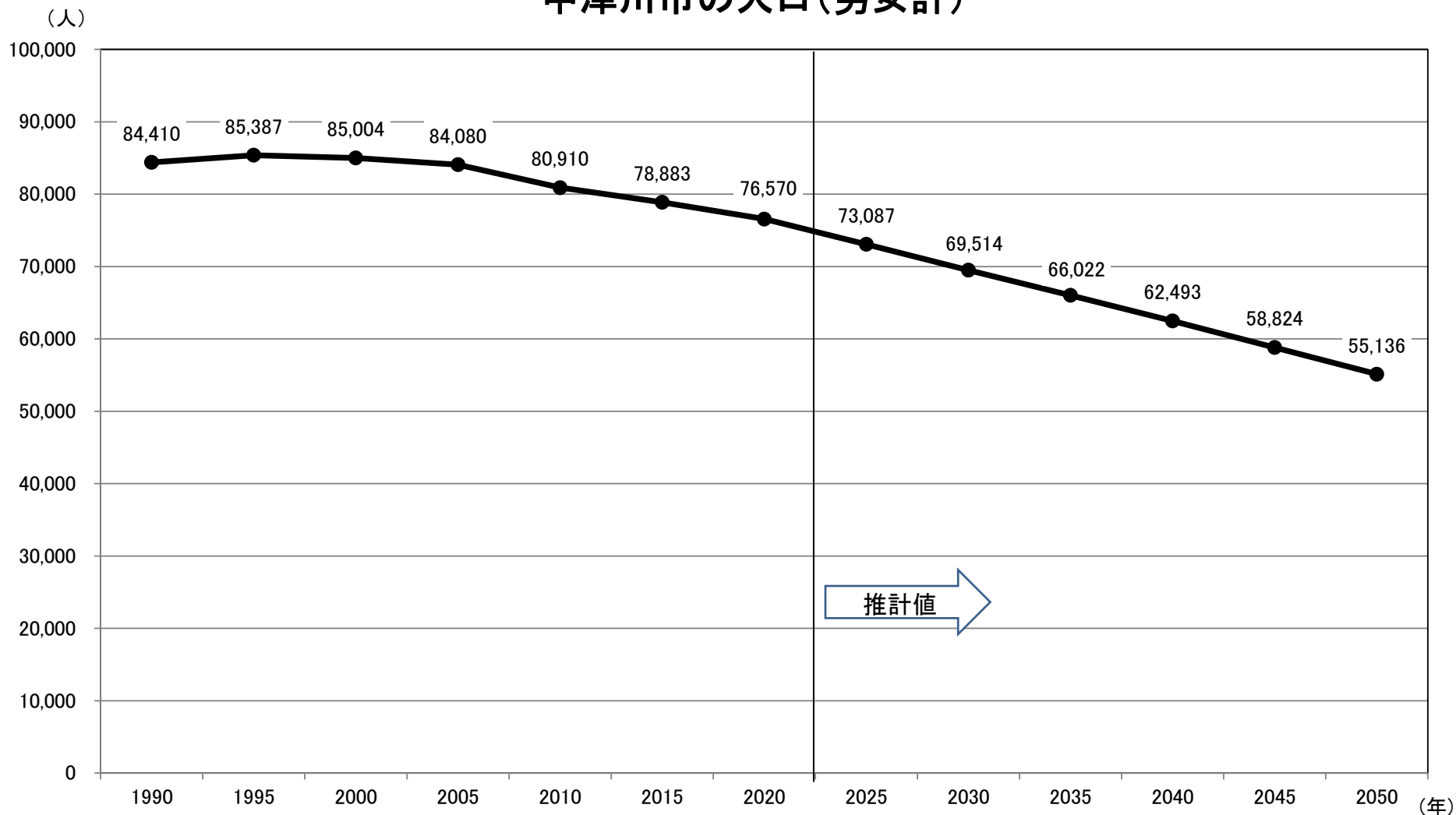
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(中津川市 2022年)



参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

中津川市の人口(男女計)



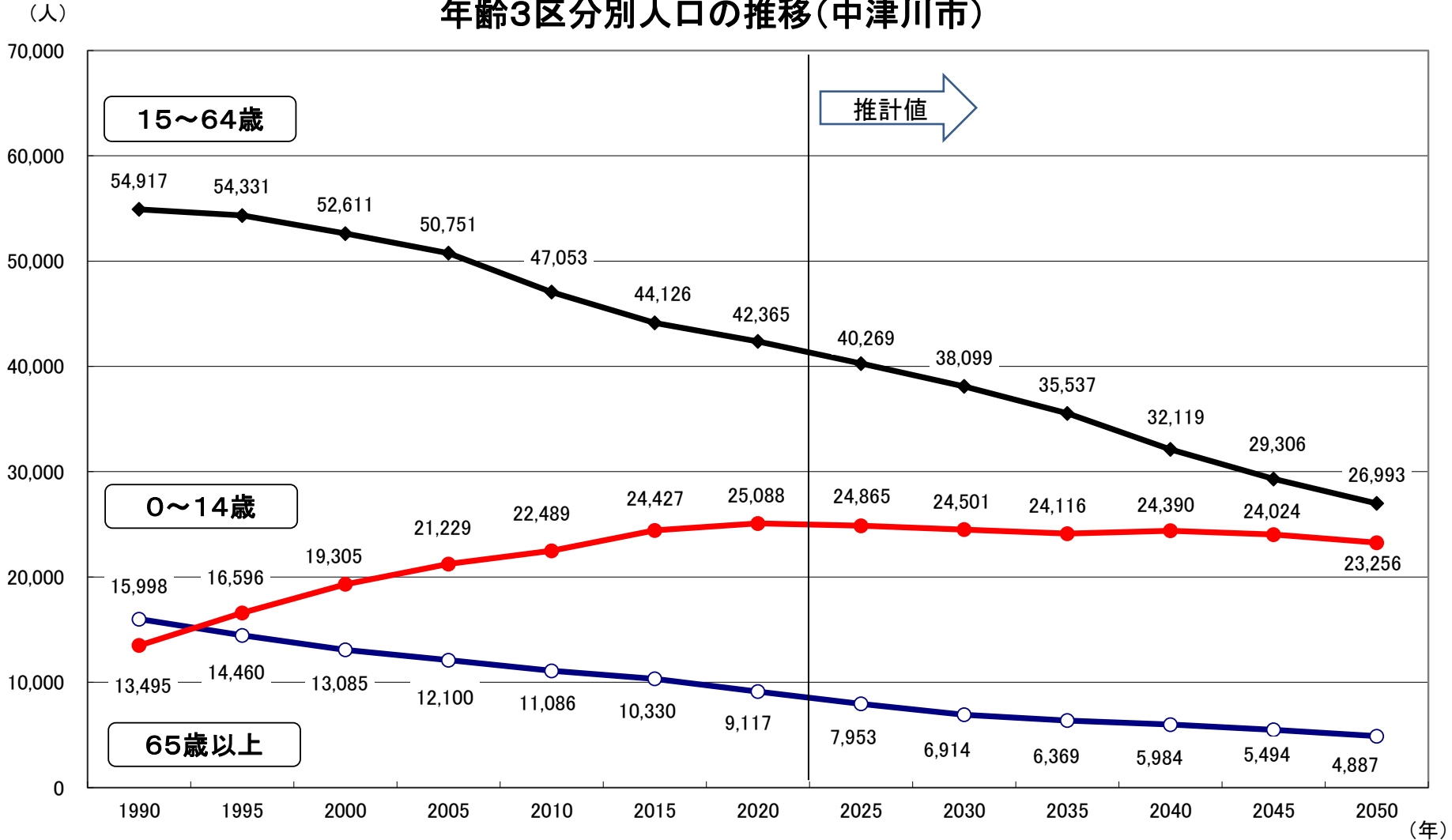
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2000年以前は長野県山口村を含む。

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

年齢3区分別人口の推移(中津川市)



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

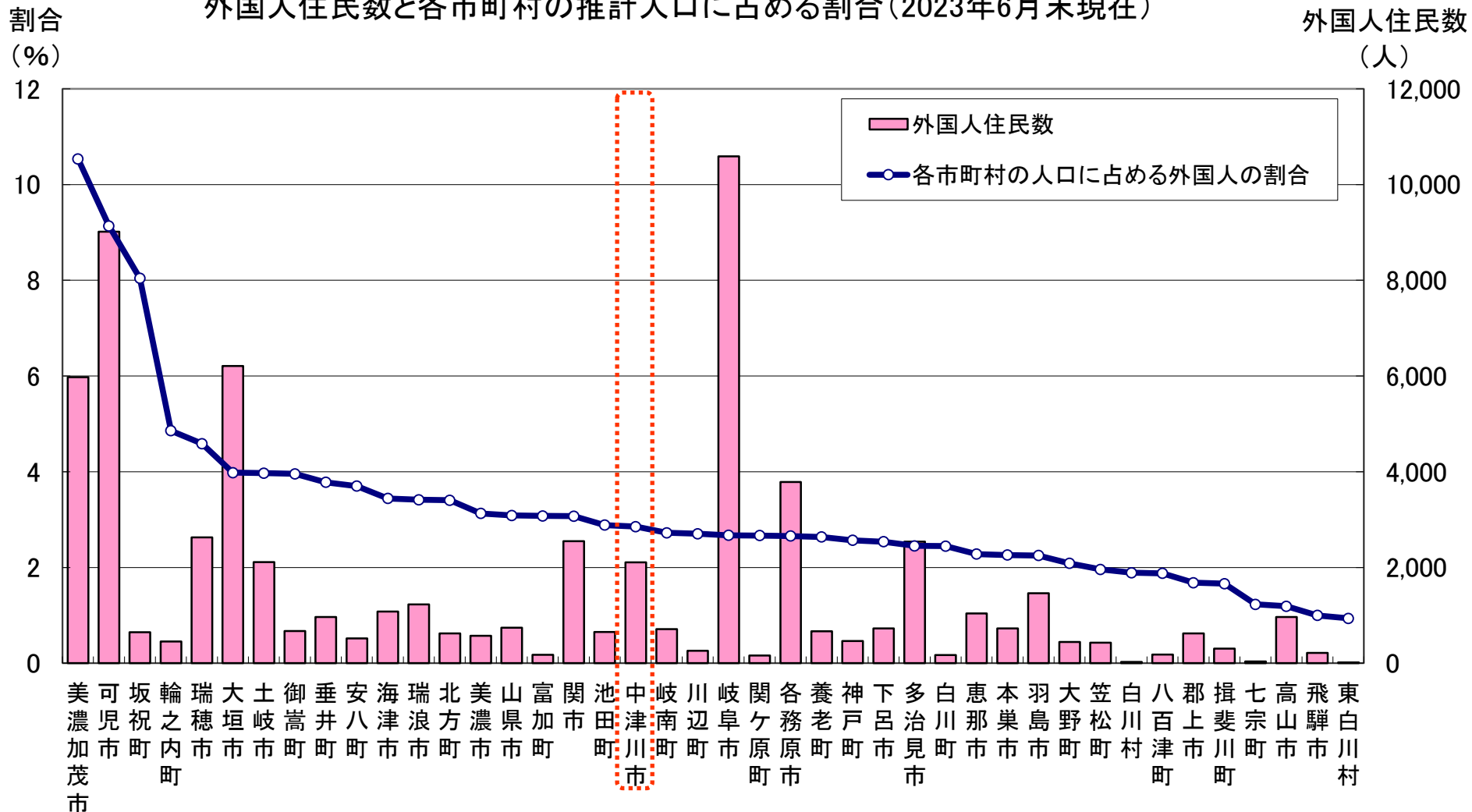
注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

2000年以前は長野県山口村を含む。

人口に占める外国人の割合は2.9%（県内19位）

岐阜県の外国人住民数65,475人のうち、中津川市の外国人住民数（2,108人）は3.2%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2023年6月末現在）



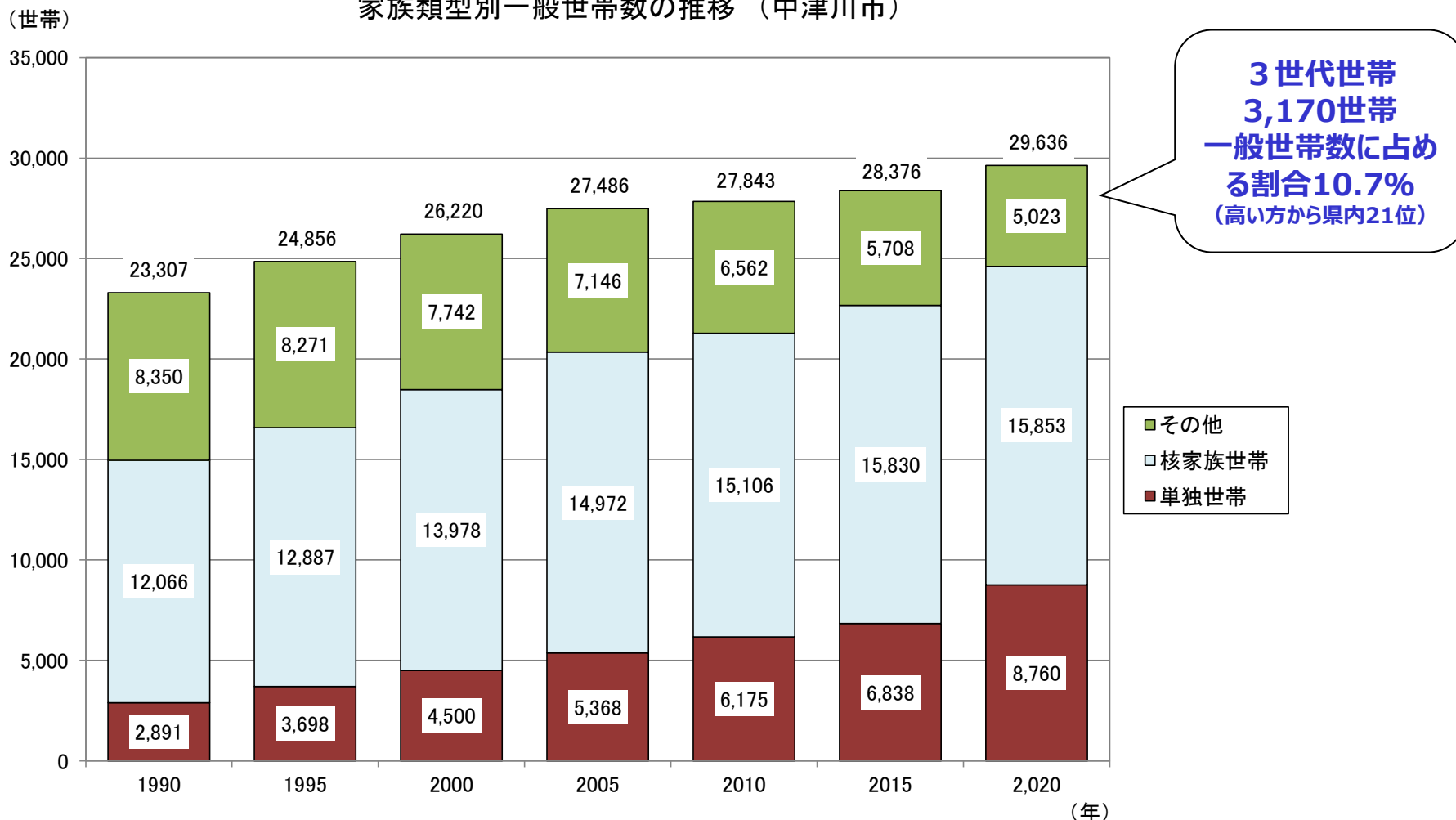
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2023年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2023年7月1日現在）により算出。

一般世帯数が増加する一方、1世帯当たり人員数は減少 単独世帯は大きく増加

単独世帯は1990年以降の30年間で3.0倍に。

1世帯当たり人員数：2.87人（2010年）→2.54人（2020年 県内28位）

家族類型別一般世帯数の推移（中津川市）

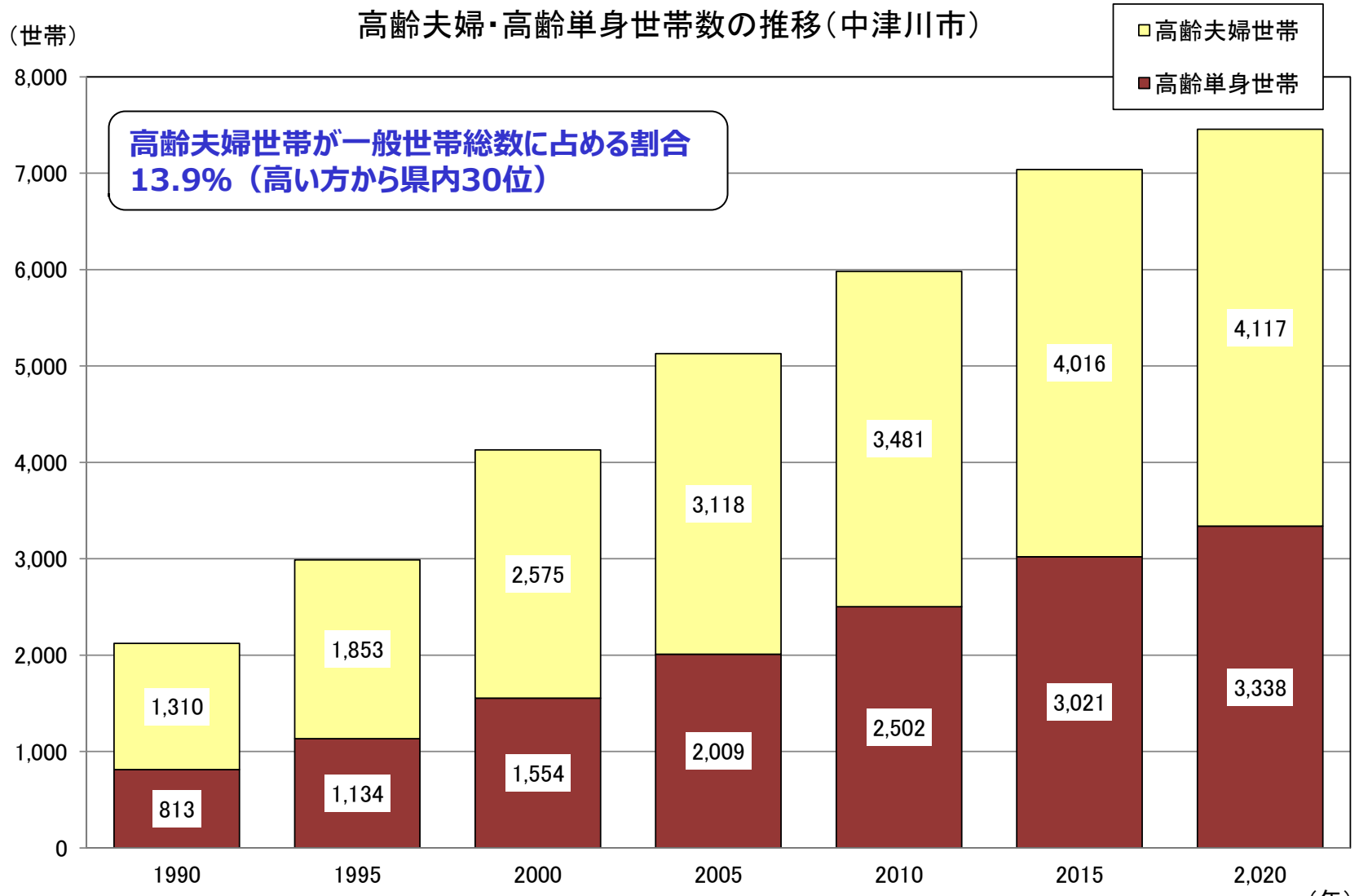


出典：総務省「国勢調査」 注：2005年以前の数値は、旧長野県木曾郡山口村（2005年2月13日中津川市と合併）の数値を含む。

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は3.1倍、高齢単身世帯は4.1倍に増加。



(注)・高齢夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

・高齢単身世帯は65歳以上の一人のみの一般世帯

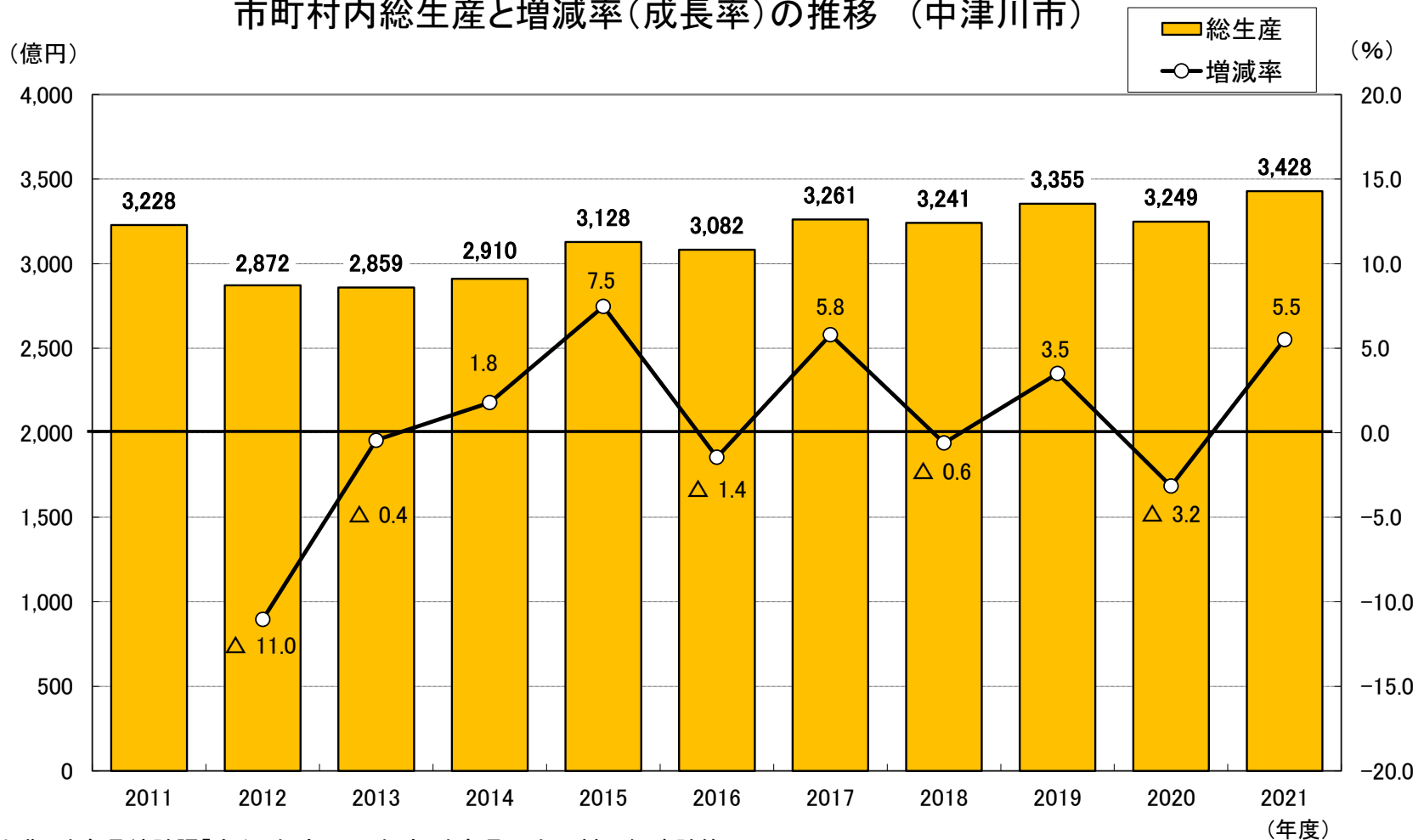
中津川市の総生産は3428億円 1人当たり市町村民所得は317万4千円

総生産は県（名目8兆110億円）の4.3%、県内7位

1人当たり市町村民所得は県（309万2千円）の102.6%、県内11位

※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの

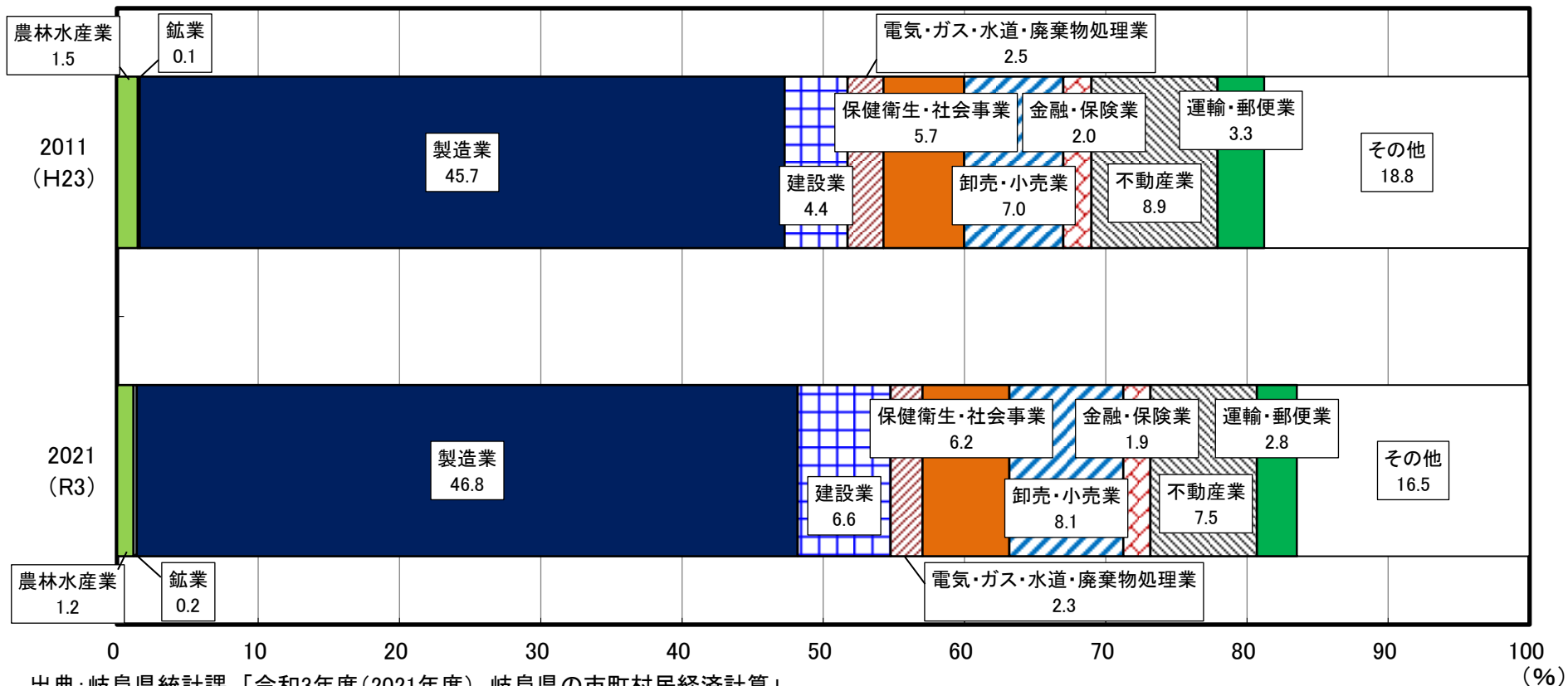
市町村内総生産と増減率（成長率）の推移（中津川市）



第2次産業が54%、第3次産業が44%を占める産業構造

製造業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (中津川市)



出典: 岐阜県統計課「令和3年度(2021年度)岐阜県の市町村民経済計算」

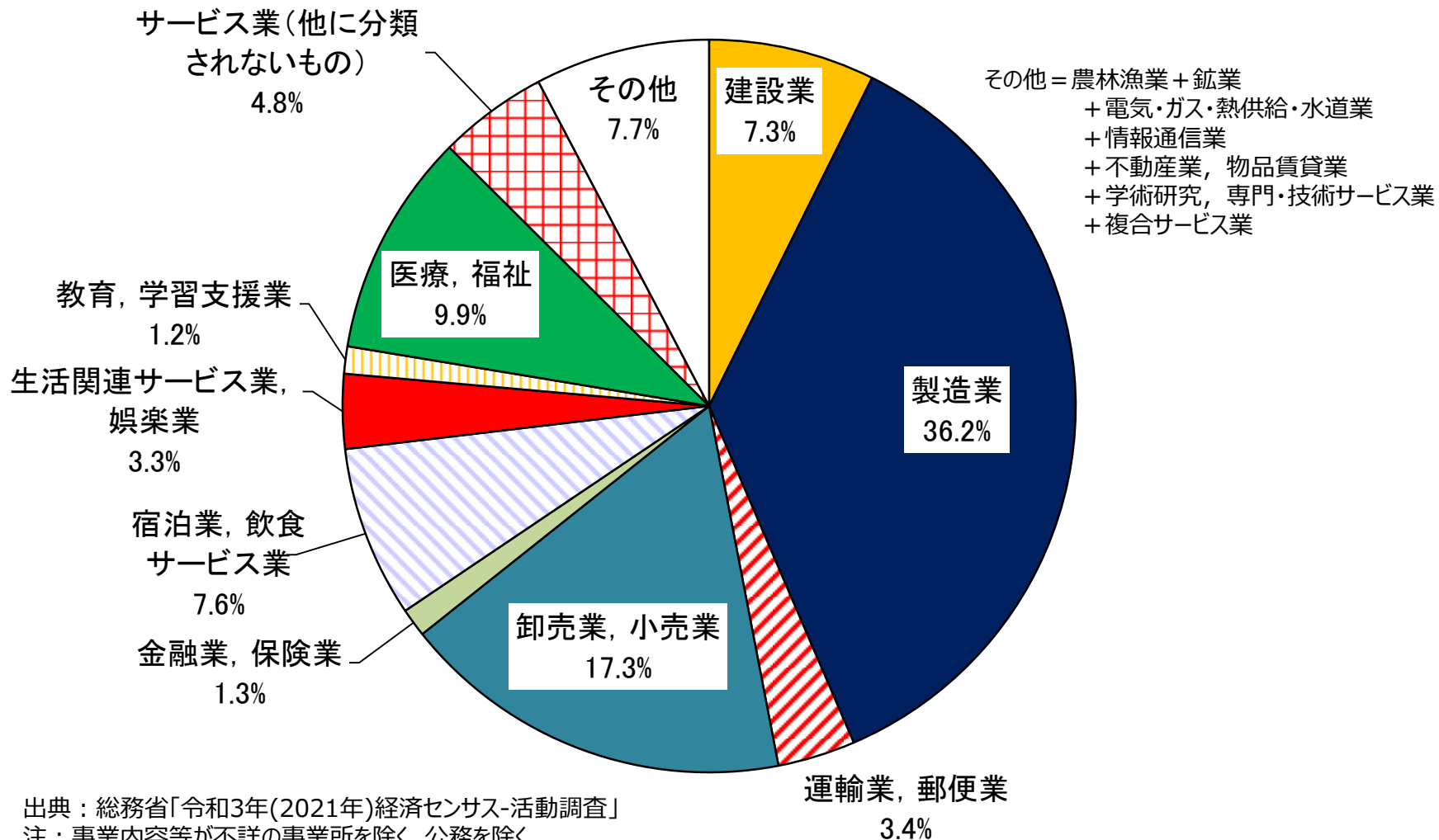
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が36.2%と最も多く、 次いで卸売業,小売業が17.3%を占める

産業別従業員数の構成比(中津川市 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、 鉱業、農林漁業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（中津川市 2021年）

| | 事業所数 | 従業者数 | | 産業別従業者数の 構成比による特化係数 | |
|-------------------|-------|--------|-------|------------------------|--------|
| | | (人) | 構成比 | 全国=1.00 | 県=1.00 |
| 総数 | 3,606 | 34,264 | 100.0 | 1.00 | 1.00 |
| 農林漁業 | 61 | 678 | 2.0 | 2.53 | 1.83 |
| 鉱業 | 11 | 70 | 0.2 | 6.01 | 3.06 |
| 建設業 | 459 | 2,514 | 7.3 | 1.14 | 1.08 |
| 製造業 | 530 | 12,406 | 36.2 | 2.38 | 1.46 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12 | 167 | 0.5 | 1.40 | 1.58 |
| 情報通信業 | 20 | 67 | 0.2 | 0.06 | 0.26 |
| 運輸業, 郵便業 | 73 | 1,173 | 3.4 | 0.61 | 0.76 |
| 卸売業, 小売業 | 799 | 5,940 | 17.3 | 0.87 | 0.91 |
| 金融業, 保険業 | 45 | 430 | 1.3 | 0.49 | 0.55 |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 132 | 424 | 1.2 | 0.44 | 0.70 |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 124 | 658 | 1.9 | 0.53 | 0.85 |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 471 | 2,591 | 7.6 | 0.94 | 0.92 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 267 | 1,127 | 3.3 | 0.88 | 0.82 |
| 教育, 学習支援業 | 79 | 412 | 1.2 | 0.36 | 0.45 |
| 医療, 福祉 | 275 | 3,378 | 9.9 | 0.70 | 0.74 |
| 複合サービス事業 | 42 | 576 | 1.7 | 2.23 | 1.85 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 206 | 1,653 | 4.8 | 0.53 | 0.67 |

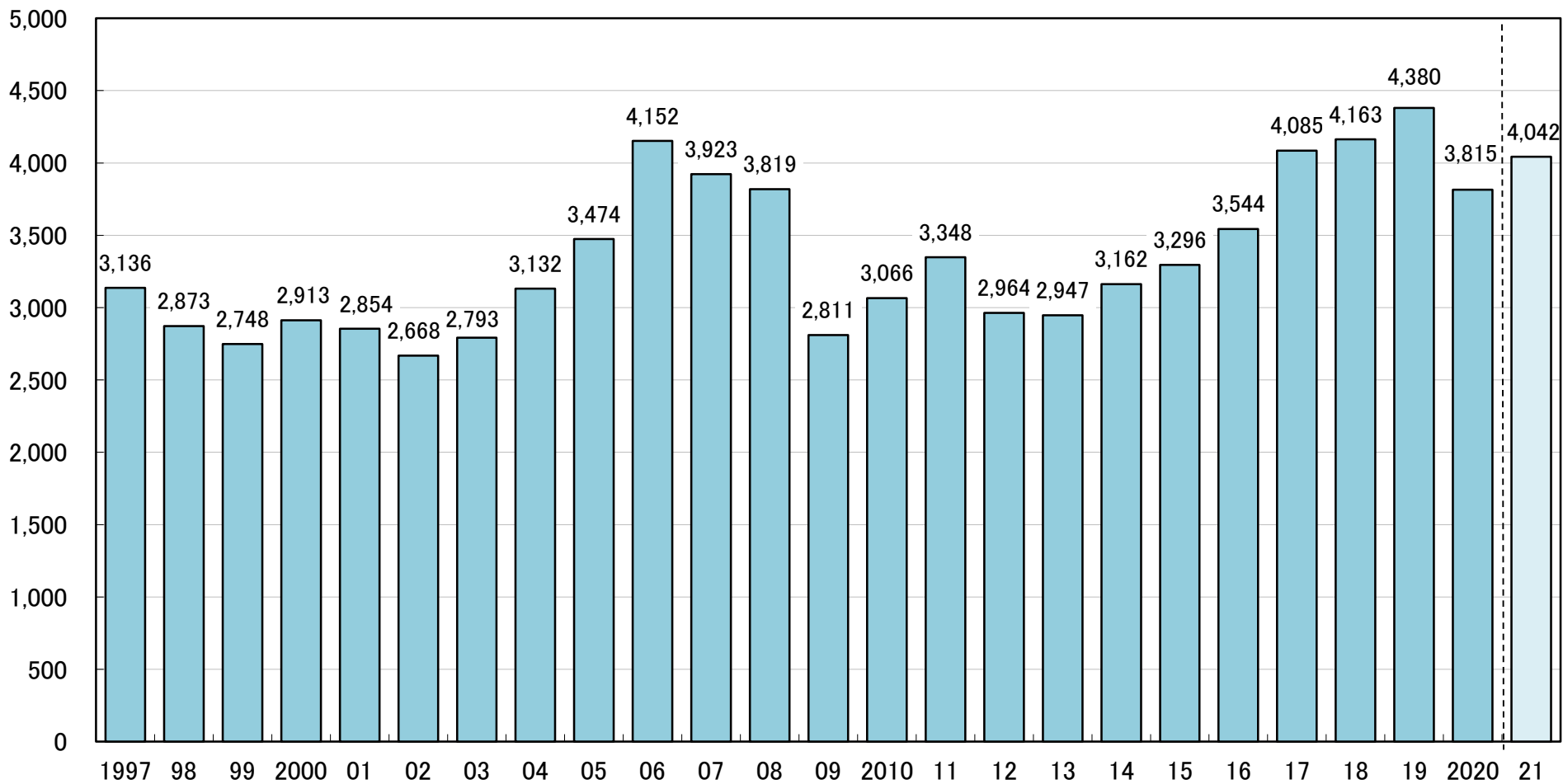
出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2021年の製造品出荷額等は、4042億円

製造業製造品出荷額等の推移（中津川市）

（億円）



出典：2021年は総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

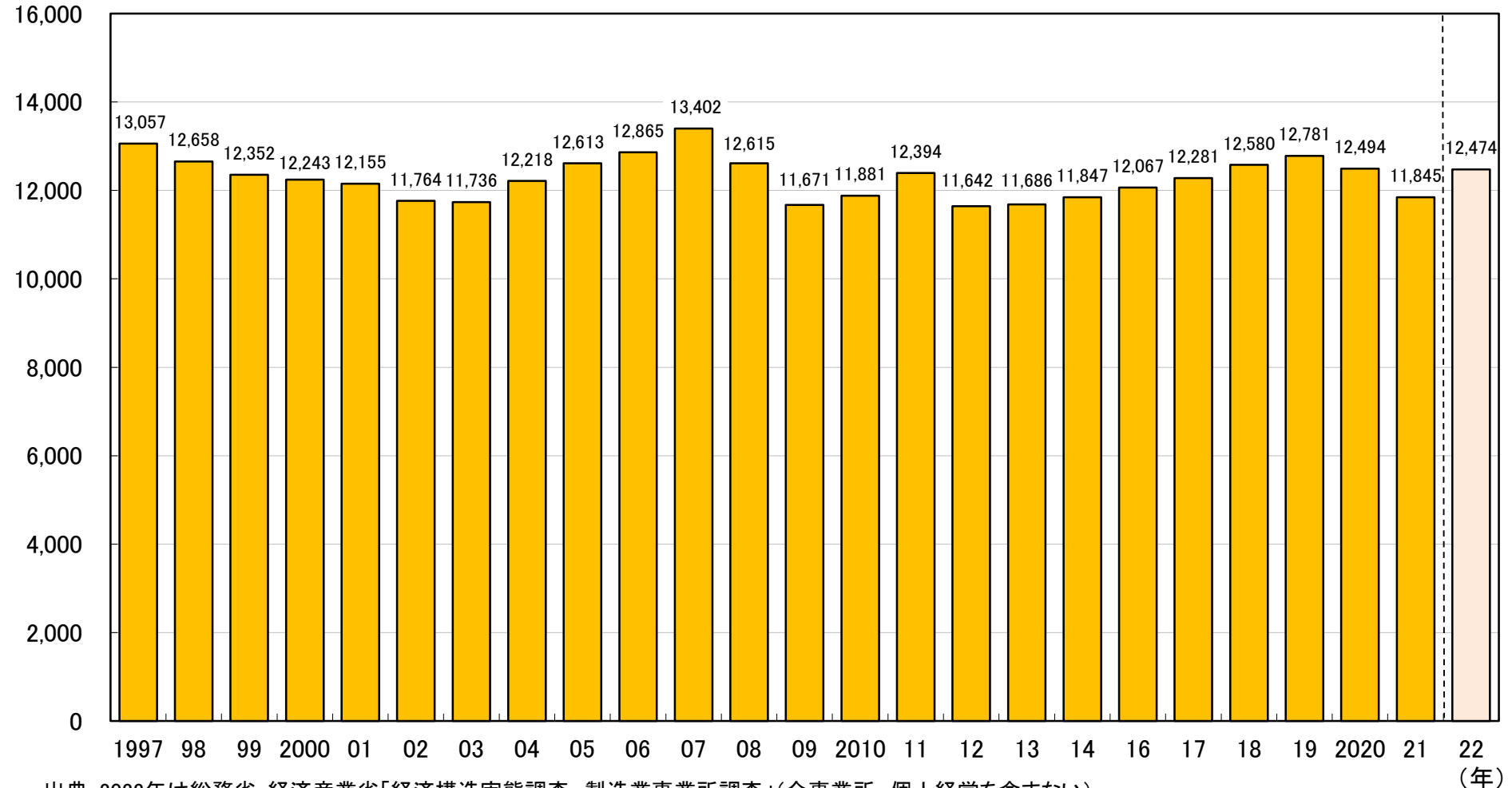
注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

（年）

製造業の従業者数は、近年ほぼ横ばい傾向

製造業従業者数の推移（中津川市）

(人)



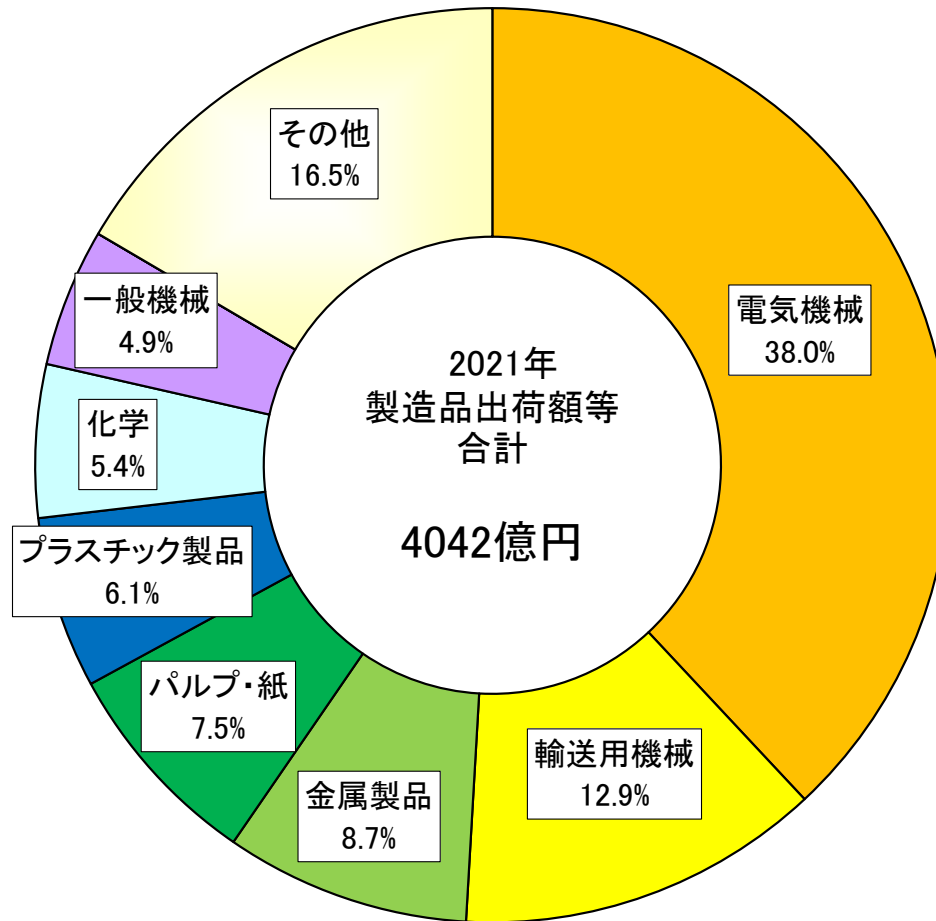
出典：2022年は総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1997年～2020年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

電気機械が38.0%と最も多く、 次いで輸送用機械が12.9%を占める

製造品出荷額等の業種構成＜中津川市＞



出典：総務省・経済産業省「令和4年(2022年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

注1：「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2：「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4：単位未滿を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。